

令和5年12月18日

柏市長
太田 和美 殿

柏市風早北部地域ふるさと協議会
会長 牧野 好延

柏市の防災活動に関わる風早北部地域住民からの要望書

常日頃より、柏市の自然災害対策に関わる諸行政への取組みに敬意を表しますとともに、当会の防災活動に対し、深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本年11月17日付で当会会長名にて責職に対し標題の要望書を提出、その後、同月20日には危機管理部長との協議を実施し、私ども風早北部地域住民からの市民防災に関する関心事項や、市の防災行政についての課題と思われる内容を整理し、その改善を要望しました。

当該協議を通じ、柏市からは一部前向きと評価できる内容での回答はございましたが、依然、未解決あるいは解決の兆しのない(市として実施を予定していない)内容も少なくなく、私どもとしては、現状の市の防災行政では、大規模災害が発生した際は、必ずしも安心して43万人市民の生命は守ることは難しく、今までに経験のない規模の災害の前に市民社会は確実に大混乱すると覚悟せざるを得ません。

今回、以下に示しました要望事項は、これまでに私どもから柏市に対して繰り返し申しあげている内容が多いですが、新規要望事案を含め、これらにつきましては是非前向きな市の回答をお願いいたします。また仮に市としてこれらの要望に対応ができない(しない)とのご回答につきましては、私ども地域住民が納得

柏市長への 防災関係要望書 《解説編》

令和5（2023）年12月18日提出
風早北部地域ふるさと協議会

1. 柏市総合防災訓練を真に実りある内容としていただくため、市全体での防災活動を網羅する訓練の実現を強く求めます←

柏市地域防災計画

本編は
360ページ

震災編
風水害等
大規模事
放射能汚
射性物質
事故編
事故編

令和5年3月
修正

柏市地域防災計画

資料編は
202ページ

資料編

令和5年3月
修正

大きなボリュームの防災計画内容を精査、評価するためには、実際の防災訓練を実践的に全市をあげて実施する以外に方策はないと思います。

市全体での訓練が出来ないのなら、市役所の機構や業務の速やかな見直しが必要。



2. 市内（当地域を含む）の指定避難所の狭隘化を解消する手段として、マイカー&マイテント避難を市民が選択できるように、その場所の十分な確保を要望します←

テントはエコノミー症候群対策にも配慮したものです。またペット同伴避難も可能となります。

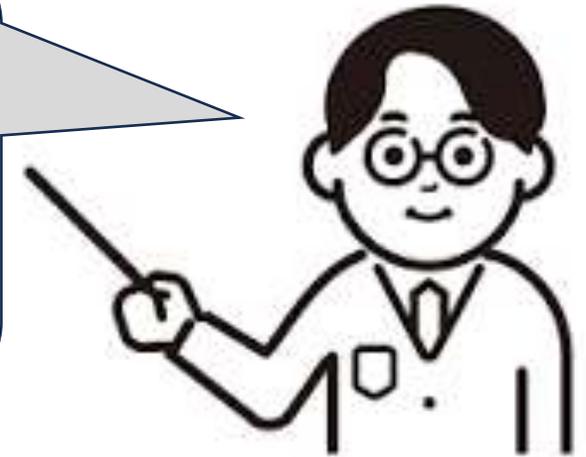


3. 大規模災害時の緊急医療施設設置以外の手段として、災害時に市民が大怪我をしないための方策を講じて頂くよう強く要望します←

① 独居高齢者宅への家具転倒防止に係る作業や物資経費の補助金支給策の導入を求めます←

② 家具転倒防止措置の実施を啓発する市民向け関連講習会の定期的実施を要望します。←

緊急医療施設の設置は、医師の確保、医療施設や医薬品の確保が大前提。それが有事に配備される保障はなく、実現は極めて困難。現実的でない現在の市の取組みは直ちに見直し、本件を前向きにとらえて欲しいものです。



柏市が本件に対して
真剣に向き合うよう
要望します。

その他の要望・見直し

- ✓市民防災力の調査と検証（自助・共助）
- ✓災害有事のふるさと協議会の役割見直し（共助）
- ✓市役所職員の防災意識向上（公助）

能登半島地震は決して対岸の火事ではない
ハズ。
行政には市民に伝わる熱意がもっと欲しい。

